

7月26～28日

あつき血の 燃える思いを 今ここに

(中学生の部入選・東中学校 前田美保子さん)

第34回秋田県中学校総体 大館大会

▶長根山運動公園を主会場に12種目の競技が行われます



大館大会の AJA ポスター募集

中学校スポーツの祭典にふさわしい総合ポスターを募集します。

作品の基準

- ・B3版(縦727×横517)のケント紙に、ポスターカラーか水彩絵の具を使用し、4色以内。
- ・作品には上記の中体連マーク(色はエンジ)と標語を入れること(中学生の応募者は中学の部入選標語を、中学生以外の応募者は一般の部の入選標語)。また、大会名(第34回秋田県中学校総合体育大会)と期間(昭和60年7月26日～28日)も入れること。

応募の方法

- ・応募点数は一人2点以内とし、作品の裏面に職業または、学校名、学年、組、住所、氏名、性別を明記し、作者の意図も忘れずに記載。

応募資格・大館市民

締切り・3月31日(日)必着

審査結果

- ・入選者、入選作品については広報などで発表し、記念品を贈呈します。

応募及び問合せ先

大館市中城1 市民体育館内
第34回秋田県中学総体事務局
☎42～6970

陸上競技	長根山陸上競技場
軟式テニス	長根山
バレーボール	市民体育館
卓球	鳳鳴高校体育館
水球	城西体育館
サッカー	桂高校体育館
ソフトボール	一中体育館
器械体操	勤労青少年プール
新体操	鳳鳴高グラウンド
	二中グラウンド
	東中グラウンド
	有浦小グラウンド

総合開会式は

長根山陸上競技場

全県中学校総体大館大会は、長根山陸上競技場で開会式と陸上競技が行われるほか、十六会場で十一種目の競技が行われます。

〈競技種目〉〈会場〉

中学生のスポーツの祭典「第三十四回秋田県中学校総合体育大会」が、今年七月二十六日から二十八日までの三日間、当市を会場に開かれます。今大会は、史上初めて秋田市を離れて開催されるもので、県内からおよそ五千人の選手が来市し、十二種目の競技に熱戦を展開します。

市民の皆さんのご理解とご協力で、ぜひこの大会を成功させたいものです。

民泊に ご協力を

大館大会には、全県から選手、役員合わせて六千人が来市します。このうちおよそ三千人が市内に宿泊することになりますが、市民の皆さんに民泊のご協力をいただかなければ参加選手が宿泊できない状況にあります。

そこで中学総体大館市実行委員会では、民泊を引き受けてくださるご家庭を、町内会長さんを通じて調査(一般家庭宿泊依頼調査)をしていますので、なるべく多くの皆さんのご参加をお願いします。

剣道	東中体育館
柔道	城南小学校体育館
相撲	南小学校相撲場
バスケット	比内町勤労体育館
ボール	比内中学校体育館

明日になう若人 燃える大文字

一般の部入選・丸山清次さん
公募していた全県中学総体大館大会の標語が決まりました。

この標語の公募には、中学生の部に三百点、一般の部には四十六点もの応募があり、審査した結果、中学生の部では東中学校二年前田美保子さん、一般の部では部垂町の丸山清次さんの標語が入選しました。この標語は、大館大会を全県にPRするためのポスターや看板などに使われます。

- 〈中学の部佳作〉
高杉博樹君(矢中2年)
樋口一寿子さん(東中1年)
安部和弘さん(一中1年)、
佐藤三枝子さん(比内中3年)
〈一般の部佳作〉
石田米蔵さん(有浦六丁目)
佐藤竹治さん(桜町南)

市長の 対話ノート



No.105

なぜ小坂インターか

五十六年から取り組んできた「小坂インターチェンジ」の増設運動も、お陰様で県民運動にまで発展し、今秋には最大の山場を迎えようとしています。

このインターをつくる運動は「ないよりは、あった方がよい」的なものではありません。

このインターを活用し、高速交通体系に結合した、地域の産業改革を進めるために必要であるのです。インターをつくることによって様々な要素が生まれます。時間の短縮を利用して流入物資が増すでしょう。買い物に他に出ることも多くなるでしょう。逆に企業進出の条件もよくなるでしょうし、生産物の流通にも有利になります。

しかしこのような客観的条件が変化しただけにとどめてしまったのでは何の意味もありません。これを主体的条件の変化に結びつけてこそインターが生きていくのです。

すなわち市民一人ひとりが、現在の生産を含めた経済活動にどう活用するかということですね。他人事ではなく、自分の問題として有利な活用方法を考え、行動に結びつけなければならぬと思います。

結果としてインターが大館周辺の産業、経済構造を良い方向に、大きく転換する絶好の機会にしていかなければならないと存じます。

角山健治郎